

令和7年度

「運営に関する計画」

最終評価



大阪市立海老江西小学校

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

校 訓 明るく 正しく 強く

学校教育目標 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる

学校経営目標 一人一人が **か**がやき **い**きいきと学び **せ**かいとつながり

未来を **い**きぬく力をはぐくむ

『めざす子ども像』

- ・心身ともに健康で、チャレンジする子
- ・ちがいを認め合い、互いを尊重する子
- ・自分の考えを持ち、自分を表現する子
- ・興味・関心を持ち、すすんで学ぶ子
- ・つながりを大切に、学び続ける子

『めざす学校像』

- ・安全で安心できる学校
- ・一人一人の個性が輝く学校
- ・豊かな心と健康な体をはぐくむ学校
- ・確かな学力をつける学校

『めざす教職員像』

- ・子どもに向き合い寄り添う教職員
- ・チームワークを大切にする教職員
- ・学び続け、専門性を高める教職員
- ・子どもや保護者から信頼される教職員

本校は、令和6年度に創立110周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。

現在、9学級（内特別支援学級3学級）、児童数が147名の小規模校で、全学年児童が家族的な雰囲気の中で学んでいる。

また、併設幼稚園がある特色を生かし、幼小合同の避難訓練や運動会などをはじめ様々な幼小交流活動にも年間通して取り組んでいる。地域のコミュニティ・地域の人とのふれあい活動も進めている。

校内では、1年から6年までの児童でたてわり班を編成し、全校遠足やたてわり集会、たてわり清掃など、年間通して、たてわり班活動に取り組んでいる。

校区には、古くからの街並みが残り、地域の方々の学校に対する思いは熱く、学校とともに取り組む行事も多い。校区にある「八坂神社」の夏祭りは特に盛んで、地車が町を練り歩き賑わう。祭りを中心にした組織の結束力は強く、人情味のある地域の方々がみんなで子どもを育てていくといった文化が受け継がれている。

現状と課題

縦割り班の活動を学校行事の様々な場面に取り入れ、異学年の交流を大切にしてきた。さらに、全学年で幼稚園との交流活動を行ったり、幼小合同の行事を行ったりしてきた。その成果、児童の自尊感情が育ち、校内アンケートでは93.9%の児童が「学校が楽しい」と肯定的に回答し、98.6%の児童が「学校行事が楽しい」と肯定的に回答している。

毎月の児童理解研修会（スクリーニング会議）や心の天気、いじめアンケートの活用により、全教職員で児童を見守る体制を構築してきた。また、様々な形で児童の情報を共有し、小さな変化も見逃さないように努めてきた。その結果、大きないじめに発展する前に問題を

総合的読解力育成カリキュラムの研究を計画的・組織的に進めることができた。そして、児童が「わかる」「楽しい」と感じる授業作りを学校全体で行うことができた。その結果、96.6%の児童が「授業がわかりやすい」と肯定的に答え、経年調査の総合得点も、すべての学年で大阪市を上回ることができた。

これまでの課題であった話し合い活動では、ペアトークやグループトークなど、様々な場面で取り入れることにより、改善がみられた。今後も、話し合い活動を活発に行えるように工夫を重ね、「主体的・協働的な学び」を推進していく。

体力の向上については、計画的に各種の運動強調週間を実施することにより、体を動かす時間が増え、運動への意識も高まり、休み時間や放課後に運動場で遊ぶ児童が増えた。スポーツテストの体力合計点は、男子、女子ともに伸びがみられ、男子は大阪市平均を上回り、女子は全国平均を上回った。しかし、筋力面と瞬発力、柔軟性の面で男女ともに課題がみられたので、今後も児童が楽しみながら意欲的に運動に取り組めるように、計画的に運動強調週間を実施していく。

ICT機器の活用状況は、令和5年度に比べると5倍以上の活用率となった。今後は、さらに効果的な活用方法を模索していくとともに、これまで以上に、個別の学びに活用していく。情報モラル教育については、全体的には改善されてきているものの、SNSの使い方についてはまだまだ課題が多く、各家庭への啓発を含め、これからもしっかりと取り組んでいく必要がある。

働き方改革については、時間外勤務時間は大阪市平均より少なく、年々減少している。今後も働き方改革の取り組みを推進していくとともに、保護者や地域の皆様とともに進めていけるように情報を発信していく。

読書活動については、学校全体で様々な取り組みを行い、一定の成果はあった。しかし、ICT機器の活用が進み、全体的には読書離れの傾向にある。よって、今後も様々な形で児童が文字に親しみ、言語能力を高められるよう取り組んでいく。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果

平均正答率	国語	算数
学校	65.0	56.0
大阪市	66.0	62.0
全国	67.7	63.4

令和6年度 小学校学力経年調査結果

学年	平均	国語	社会	算数	理科	英語
6年生	学校	66.2	62.0	78.5	61.3	76.5
	大阪市	66.4	55.2	65.9	64.6	76.2
5年生	学校	76.2	69.8	71.5	69.5	89.1
	大阪市	70.4	60.9	63.7	68.6	84.0
4年生	学校	66.7	62.0	69.5	61.4	
	大阪市	67.5	60.7	68.1	62.7	
3年生	学校	67.4	77.6	78.8	73.8	
	大阪市	61.4	67.0	69.1	62.2	

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

男子

年度	平均	握力	上体起し	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力 合計点
		kg	回数	c m	回数	回数	秒	c m	m	
R6	学校	13.8	21.5	32.3	41.3	50.1	9.48	140.1	22.8	51.8
	大阪市	15.8	19.1	32.7	38.6	45.1	9.52	148.0	20.5	51.1
	全国	16.0	19.2	33.8	40.7	46.9	9.50	150.4	20.8	52.5

女子

年度	平均	握力	上体起し	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力 合計点
		kg	回数	c m	回数	回数	秒	c m	m	
R6	学校	13.5	19.6	37.8	42.4	48.5	9.25	138.3	13.7	56.8
	大阪市	15.6	18.1	37.6	36.8	34.7	9.83	139.6	12.7	52.5
	全国	15.8	18.2	38.2	38.7	36.6	9.77	143.1	13.2	53.9

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 学校生活アンケートにおいて児童も保護者も「学校へ行くのが楽しい」と肯定的に回答する割合が、95%以上を維持し続ける。【1. 安全・安心な教育環境の実現】
- 児童が小学校学力経年調査において「自分には良いところがある」と肯定的に回答する割合が85%以上になるようにする。【2. 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における標準化得点を各学年とも1以上にし、維持する。【4. 誰一人取り残さない学力の向上】
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男女ともに1以上にし、維持する。【5. 健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。【6. 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】
- 教職員の働き方改革を進め、教職員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を75%以上にする。【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】
基準1：・1か月の時間外勤務が45時間を超えない かつ ・1年間の時間外勤務が360時間を超えない

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を**88%**以上にする。

R6:87.1%【1. 安全・安心な教育環境の実現】

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**87%**以上にする。

R6:86.0%【2. 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より**0.01**ポイント向上させる。

R6:4年+0.006 5年-0.013 6年+0.001【4. 誰一人取り残さない学力の向上】

・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を**84%**以上にする。

R6:83.9%【5. 健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の**61%**以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

R6:60.8%【6. 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を**90%**以上にする。

R6:88%【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

・本市調査における、「学校図書館貸出冊数（児童1人当たりの年間貸出冊数）」を**50冊**以上にする。

R6:34.8冊【8. 生涯学習の支援】

3. 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

縦割り班活動を学校行事の様々な場面に取り入れ、異学年の交流を大切にしてきた。また、全学年で幼稚園との交流活動を行ったり、幼小合同の行事を行ったりしてきた。

毎月の児童理解研修会（スクリーニング会議）や心の天気、いじめアンケートの活用により、全教職員で児童を見守る体制を構築するとともに、職員朝会や放課後の時間等で児童の情報を共有し、小さな変化も見逃さないように努めてきた。

減災教育に関しては、保護者、地域、関係諸機関と連携して取り組み、児童の防災意識を高める取り組みを行ってきた。情報モラル教育に関しては、外部講師を招聘し、児童や保護者に広く注意を呼び掛けることができた。

これらの様々な取り組みを行うことにより、児童の自尊感情が育ち、経年調査では 88.5%の児童がいじめはどんな理由があってもいけないと回答し、86.3%の児童が自分には良いところがあると回答している。

不登校児童に関しては、昨年より改善した児童が 1 人いたものの、新たに不登校傾向になった児童が 3 名おり、今後も全教職員でかかわり、次年度につなげていく。

【未来を切り開く学力・体力の向上】

総合的読解力育成カリキュラムの研究を計画的・組織的に進め、児童の読解力の向上に取り組んだ。その結果、経年調査では全ての学年で、全ての教科の全国平均を上回ることができた。また、児童が「わかる」「楽しい」と感じる授業作りを学校全体で行うことで、全学年対象の児童アンケートでは 96.4%の児童が「授業がわかりやすい」と肯定的に答えている。

図書委員会を中心に様々な読書にかかわる取り組み（読書ビンゴや読書週間、プラスワンチケット、外部講師による読み語りの会等）を行ってきた結果、本に触れ合う機会が増えた。今後も工夫を重ね取り組みを進めていく。

体育の授業を工夫して取り組み、みんな遊びや運動週間等を計画的に実施することによって、体を動かす時間が増え、運動への意識が高まった。そして、休み時間や放課後に運動場で遊ぶ児童が増えた。スポーツテストの体力合計点は、男女とも大阪市を上回ったが、全国平均には及ばなかった。今後も児童が楽しみながら意欲的に運動に取り組めるように工夫していく。

【学びを支える教育環境の充実】

ICT 機器の活用が進み、児童の 8 割以上が端末を利用した日数が 89.9%となり、目標を大きく上回った。今後は、教員の研修を深め、学年に応じた端末の使い方や、活用方法を模索し、これまで以上に個別の学びにつなげていく。

働き方改革については、90%以上の教職員が年間 10 日以上の子休を取得するという目標を達成することができた。今後も一定の目標を決めて取り組むとともに、仕事の偏りがなるべく出ないように各部で仕事量を調整していくとともに、教育課程を工夫して働き方を見直していく。

読書活動については、様々な取り組みを行い、目標数値の年間貸し出し冊数 50 冊を上回ることができた。今後もこれまでの取り組みを継続して行っていくとともに、隙間時間に活用しやすい学級文庫の充実を図っていく。

大阪市立海老江西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。 <p style="text-align: center;">R6:87.1%【1. 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。 <p style="text-align: center;">R6:86.0%【2. 豊かな心の育成】</p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1. 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめやいのちの大切さについて考える授業を道徳などを活用して学期に1回、計画的に実践する。 ・ 毎月、「児童理解研修会」をもち、情報共有するとともに、いじめなどの課題に早期に、組織的に対応していく。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の学級経営や、道徳科の授業、児童朝会、「いじめについて考える日」に、いじめやいのちについて考えることができた。 ・ 児童理解研修会で、児童の気になる行動やその背景を情報共有することができ、学校全体で取り組むことができた。 ・ 小学校学力経年調査の結果では、いじめはどんな理由があってもいけないと最も肯定的に回答する児童の割合が 88.5%となり、目標を達成することができた。 	
次年度に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめなどの課題が起こった場合の教員の連携の仕方の確認をする。 ・ 不登校傾向にある児童たちのためのサポートルームを作るなど環境を整える必要がある。 ・ 引き続き、取り組みを継続していく。 	

<p>取組内容②【2. 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年での活動（たてわり班活動・クラブ活動・委員会活動）を充実させる。 ・運動会や作品展、芸術鑑賞会、社会見学、宿泊行事などを充実させるとともに、様々なゲストティーチャーとの体験活動を各学年1回以上実施し、心の成長につなげる。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・異学年での活動を、計画的に進めることができ充実していた。今年度は、交流給食も実施することができた。 ・運動会や作品展、芸術鑑賞会、社会見学、宿泊行事などを充実させるとともに、様々なゲストティーチャーとの体験活動を各学年1回以上実施できた。 ・様々な行事や交流を通して、高学年は、それぞれの役目を果たそうとする気持ちが高まり、中・低学年は、目標となる姿があることで、心の成長につながった。 ・小学校学力経年調査の結果では、肯定的に回答する児童の割合は、前年度の86.0%より上がった。目標の数値には、0.7%届かなかったが、86.3%であった。 	
次年度に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も取り組みを計画的に実施し、児童の心の成長につなげる。 ・授業時間の確保も考えて、行事や出前授業の精選を検討する。 ・ゲストティーチャーの教科との関連や時期を一覧にまとめていく。 	

大阪市立海老江西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 R6:4年+0.006 5年-0.013 6年+0.001 【4. 誰一人取り残さない学力の向上】 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 84%以上にする。 R6:83.9% 【5. 健やかな体の育成】 	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容① 【4. 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文や説明文の読解力を向上させるために、総合的読解力育成カリキュラムの取り組みを学期に1テーマ以上行う。また、毎週の図書時間に借りることができる2冊の本のうち、1冊以上を『9・物語等』から選ぶようにする。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的読解力育成カリキュラムの取り組みを1学期1テーマ以上、全4テーマを3年生～6年生において取り組むことができた。 ・図書委員会の様々な取り組み（読書ビンゴ・読書週間・プラスワンチケット）や日々の宿題に15分読書を入れるなどの各学年の取り組みを行ってきたことで、本に触れる機会が増え、前年度よりも読書に対する意欲が向上した。 ・全学年において、平均正答率の対全国比を上回ったが、前年比0.01ポイント向上とはいかなかった。 (R7 4年+0.006 5年+0.032 6年-0.025) 	
<p>次年度に向けて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の研究において、物語文や説明文の読解のために、学校として共通して取り組むポイントや授業づくりなどを取り決め、共有していく必要がある。 ・図書委員会の取り組みにおいては、今年度と同様のものを継続して行っていく。 ・学級文庫の充実と整理をしていく。 	

<p>取組内容②【5. 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の授業を工夫し、遊具や器具・用具を活用したり、準備運動を工夫したりして、筋力や柔軟性を高めるようにする。 ・ みんな遊びの取組みを工夫し、さまざまな運動を経験できるようにする。 ・ 運動週間を学期に1回は実施し、楽しんで運動に取り組めるようにする。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 84%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんな遊びや運動週間などを計画的に実施でき、運動する機会が設けられ、児童も楽しそうに意欲的に参加していた。 ・ 各学年で授業の工夫がみられ、児童の筋力や柔軟性を高めることができた。また、器具や用具が使いやすい環境を整えることができた。 ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目で、最も肯定的な回答は81.7%であり、目標には届いていない。 (肯定的な意見だと97.1%) 	
<p>次年度に向けて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き体育の授業の工夫や運動週間を取り入れ、運動する機会を増やしていく。 ・ 運動週間に取り組む時間を考えたり、研修会を充実させたり、各係や委員会と連携したりして計画的に取り組む。 ・ 取組み内容の「みんな遊び」を外し、指標を立てやすいようにする。 	

大阪市立海老江西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の61%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕 <p>R6:60.8% 【6. 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。 <p>R6:88% 【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市調査における、「学校図書館貸出冊数 (児童1人当たりの年間貸出冊数)」を50冊以上にする。 <p>R6:34.8冊 【8. 生涯学習の支援】</p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【6. 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の天気の入力を定着させる。 長期休みを中心に端末の積極的な持ち帰りを進め、家庭学習に活かす。 総合的読解力育成カリキュラムの授業など、あらゆる学習活動において端末を活用する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の61%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕 	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> 心の天気の入力は定着してきている。 canva や navima などを活用し、端末を使用する機会を増やすことができた。 teams で連絡帳の配信することを通して家庭で端末で確認する習慣がついてきた。 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 89.9% であり、目標を達成することができた。 	
次年度に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> 心の天気の入力の声掛けを継続して行う。 学年に応じた端末の使い方や、端末の良さを生かした活用方法を考えていく。 教員が teams などを活用し、使い方に慣れるような ICT 機器の使い方の研修会を開く。 端末の使い方のルールを徹底できるよう児童に確認するとともに、保護者への啓発を行う。 	

<p>取組内容②【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して年次有給休暇を取得できるように、全教職員で児童対応に当たるとともに、年次有給休暇を取得しやすい職場の雰囲気づくりを推進する。 ・令和6年度よりも学校閉庁日を増やしたり、「ゆとりの日」に会議を設定しないようにしたりするなど、年次有給休暇や時間休を取得しやすい環境を整える。 <p style="text-align: right;">R6:学校閉庁日7日</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で臨機応変に児童の対応を分担することにより、年次休暇を取得しやすい環境を整えることができた。3月9日現在、10日以上の年休取得率は94%であり、目標を達成することができた。 ・学校閉庁日は、当初の計画通り8日実施することができた。 ・ゆとりの日を計画的に取り入れたり、会議の時間が短くなるように計画したりすることで、放課後の時間の使い方の選択筋が増えた。 	
<p>次年度に向けて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の学校閉庁日を増やしすぎないように留意する。 ・教育課程を工夫することにより、放課後の時間を活用しやすくしていく。 ・校務分掌部会で、なるべく偏りがないように仕事分担を行っていく。 ・1日単位で年次休暇を取得しにくい場合は、日常的に取得できるタイミングで時間休を取得するように意識していく。 	
<p>取組内容③【8. 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に2日、図書館開放を行い、児童が本に触れる機会を確保する。 ・司書教諭による読み聞かせや推薦図書の紹介、図書委員会によるお勧めの本紹介カード、読書週間等の各学期の取り組み、「家読ノート」による家庭への啓発など、児童が読書に親しむための実践を行う。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市調査における、「学校図書館貸出冊数（児童1人当たりの年間貸出冊数）」を50冊以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・週に2回の図書館開放、司書教諭による図書の時間の読み聞かせなどにより、児童が様々な本に触れる機会を確保することができた。 ・読書週間の図書館クイズや読書ビンゴ、図書委員会による紙芝居の読み聞かせなど、計画通りに行い、児童が図書館を訪れたり本に触れたりする機会を工夫することができた。 ・長期休暇や各学期の「家読ノート」の活用、プラスワンチケットの取り組みにより、児童が本に親しむ機会が増え、1月末時点の図書館貸出冊数は54.1冊となり、目標の50冊を越えることができた。 	

次年度に向けて

- ・ 継続して取り組む。
- ・ すきま時間に活用しやすい学級文庫、読書スペースの充実（整理・整備）を行う。
- ・ 図書館開放を充実させる工夫をする。
- ・ 家庭と連携した読書の啓発を行っていく。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立海老江西小学校 学校協議会

1 総括についての評価

学校の自己評価結果は妥当であり、教育活動の取組に対し肯定的に受け止め、評価する。中期目標に対する評価は次のとおりである。

【安全・安心な教育の推進】

学校生活アンケートにおいて「学校へ行くのが楽しい」と肯定的に回答する児童の割合は95%、保護者の割合は93.5%であり、目標を達成することができている。

小学校学力経年調査において「自分には良いところがある」と肯定的に回答する割合が86.3%であり、目標を達成することができている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における標準化得点は、各学年全ての教科で1以上となり、目標を達成することができている。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点が男女とも大阪市平均を上回っているが、全国平均までは届いていないので、目標を達成することができていない。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数の割合が89.9%であり、目標を達成することができている。

教職員の働き方改革を進め、教職員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を100%にすることができたので、目標を達成することができている。

2 年度目標ごとの評価

達成状況、進捗状況ともに、評価は妥当である。

【安全・安心な教育の推進】B：目標どおり達成した

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。

→R7:88.5%

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

→R7:88.5%

【未来を切り拓く学力・体力の向上】B：目標どおり達成した

・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

→R7：4年+0.006 5年+0.032 6年-0.025

・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 84%以上にする。

→R7:81.7%

【学びを支える教育環境の充実】B：目標どおり達成した

・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 61%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]

→R7:89.9%

・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90%以上にする。

→R7:94%

・本市調査における、「学校図書館貸出冊数（児童 1 人当たりの年間貸出冊数）」を 50 冊以上にする。

→R7:54.1 冊

3 今後の学校園の運営についての意見

教職員が一丸となって教育活動を進めており、一定の成果をあげていることを評価する。

SNS は使い方によって子どもたちに悪影響を及ぼしかねない。なくてはならないツールなので、子どもたちが上手に使っていけるように指導してほしい。

働き方改革が進み、勤務時間が短くなる一方で、各家庭に持ち帰っている仕事量が多くなっているのではないかと。本当の意味での働き方改革を進めてほしい。

中学校に進学して他校の児童と一緒になったときに、どうしても人数が少なくおだやかな本校の子どもたちの弱さが出てしまう。強く生きていける力をつけてほしい。

今後も保護者・地域・学校が一体となり、海老江西小学校のよき伝統を守っていきたい。